

# 2008年度 中間決算説明資料

株式会社太陽工機

2008年10月29日

# 将来予測について

◆当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、主に以下のものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

# 第2四半期 決算概要

# 増収・増益・利益率向上

## ■ 予定通りの順調な決算

- 売上高 前年比9.6%増の3,490百万円  
⇒大手企業を中心に堅調に売上伸長
- 営業利益 前年比12.7%増の532百万円
- 経常利益 前年比15.3%増の520百万円  
⇒売上高の増加に伴う増益に加え、  
採算性の高い機種の新入による利益率の向上

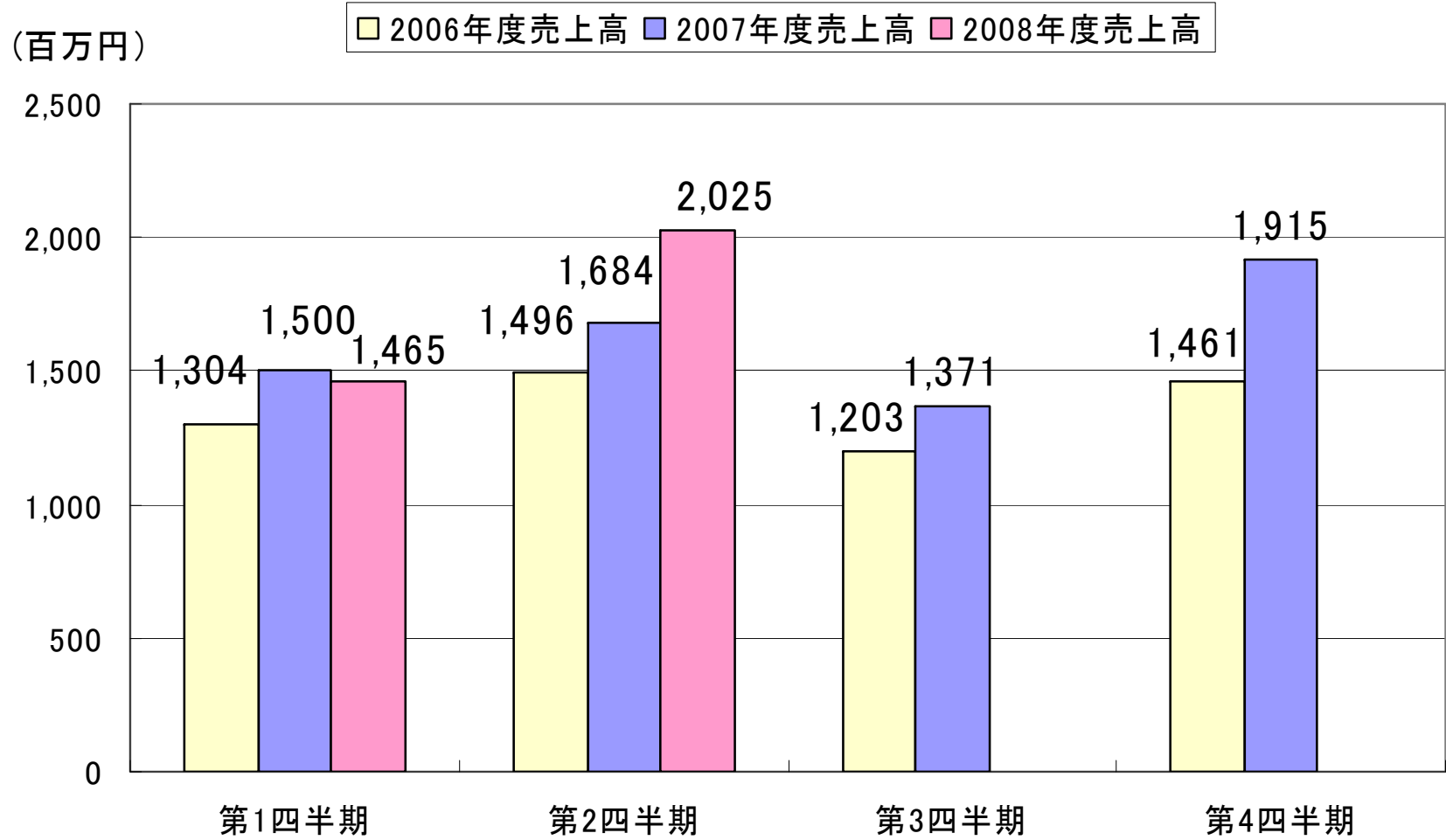
## ■ 受注も堅調に推移

- ほぼ目標どおりの3,521百万円  
⇒エネルギー関連・航空機・船舶等から大型機を  
主体になお受注拡大中

# 損益計算書(P/L)

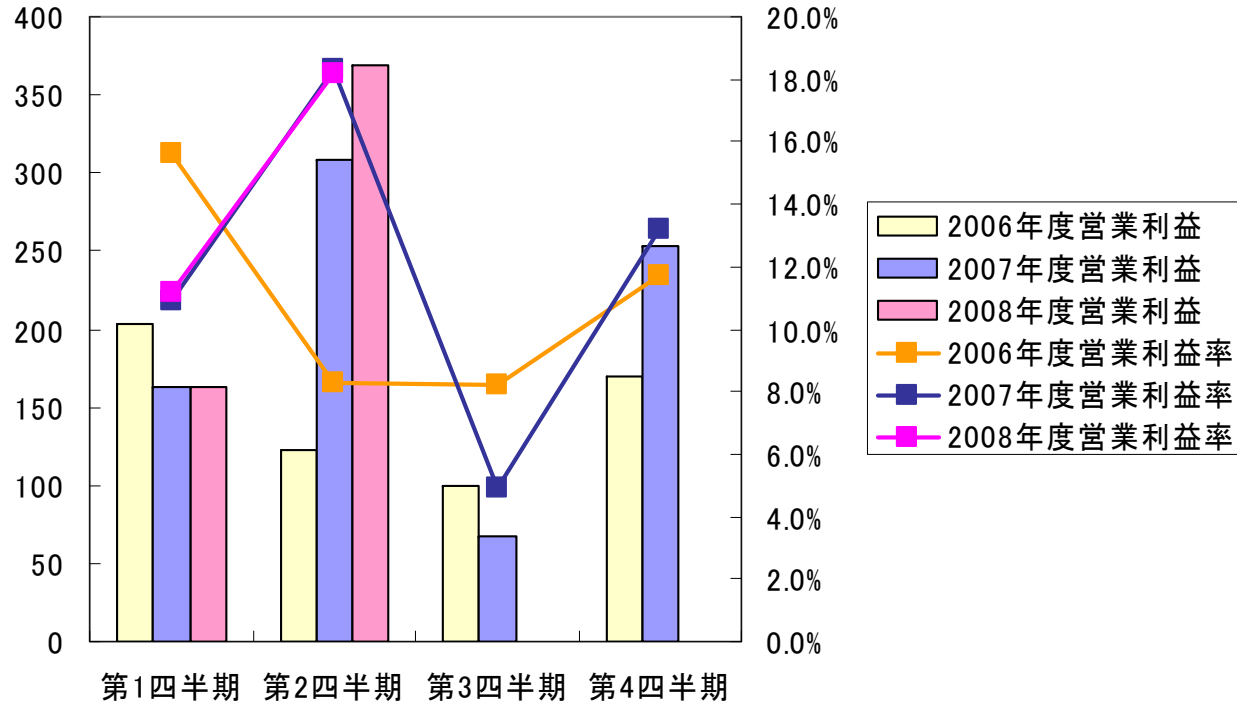
(百万円)	2007年度 中間期	2008年度 中間期				
	実績	実績	増減	対前年比	業績予想	達成率
売上高	3,185	3,490	305	9.6 %増	3,600	96.9%
営業利益	472	532	60	12.7 %増	520	102.3%
(売上高比率)	14.8%	15.3%		-	14.4%	-
経常利益	451	520	69	15.3 %増	510	102.0%
(売上高比率)	14.1%	14.9%		-	14.2%	-
税引前利益	449	521	72	16.0 %増	-	-
当期利益	266	291	25	9.4 %増	300	97.0%

# 売上高



(注)2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。

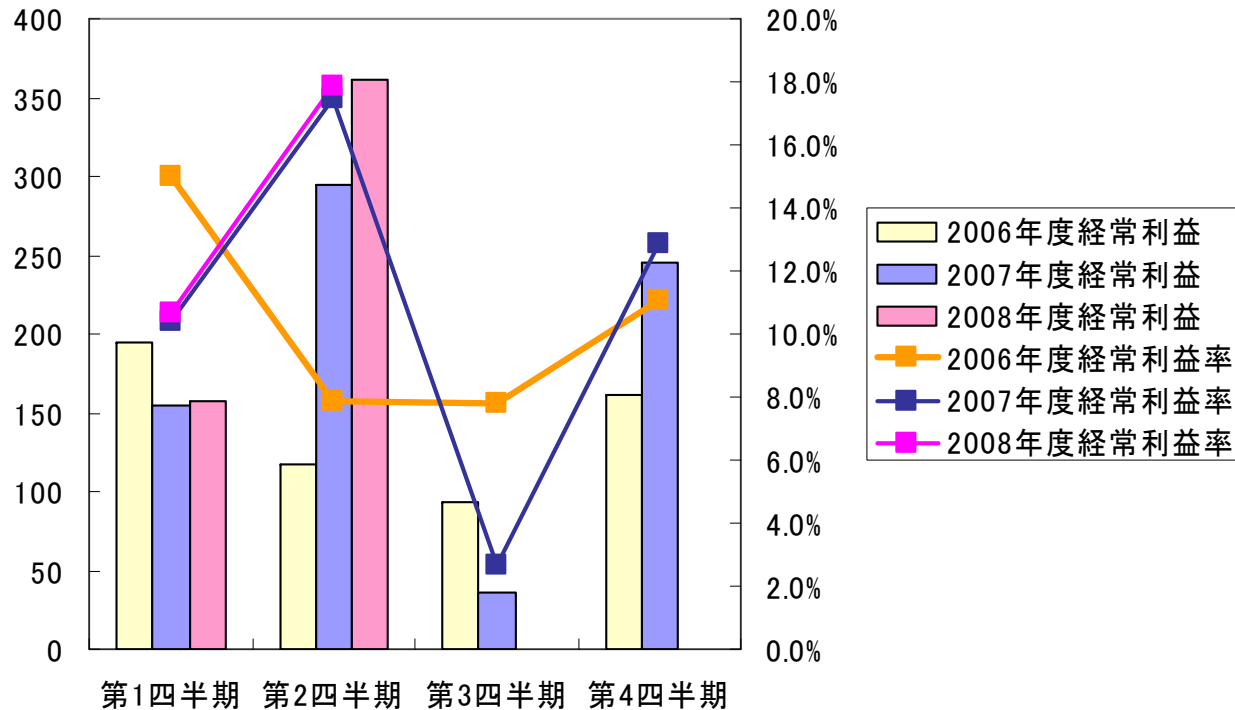
# 営業利益



	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2008年度営業利益	163	369		
2008年度営業利益率	11.2%	18.2%		
2007年度営業利益	163	308	67	253
2007年度営業利益率	10.9%	18.3%	4.9%	13.2%
2006年度営業利益	203	123	99	170
2006年度営業利益率	15.6%	8.3%	8.2%	11.7%

(注)2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。 7/27

# 経常利益



	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2006年度経常利益	195	118	93	162
2006年度経常利益率	15.0%	7.9%	7.8%	11.1%
2007年度経常利益	155	295	36	246
2007年度経常利益率	10.4%	17.5%	2.7%	12.9%
2008年度経常利益	157	362		
2008年度経常利益率	10.7%	17.9%		

(注)2006年度・2007年度の数値につきましては未開示ですので参考値として記載しております。 8/27



# 原価率・販管費・株主資本比率

	2007年度 中間期	2007年度 通期	2008年度 第1四半期	2008年度 第2四半期	2008年度 上半期
売上高原価率 (下段は売上原価: 百万円)	72.7% 2,316	74.7% 4,834	74.5% 1,092	70.6% 1,430	72.3% 2,522
販売管理费率 (下段は販売管理費: 百万円)	12.5% 397	13.0% 844	14.3% 209	11.2% 226	12.5% 435
株主資本比率 (下段は株主資本: 百万円)	39.3% 1,398	60.2% 2,210	62.4% 2,242	64.0% 2,450	64.0% 2,450

- 売上高原価率 ⇒標準機種・複数ロット受注の増加により原価圧縮
- 販売管理費 ⇒決算・株主総会等イベント関連費用発生なく比率低下
- 株主資本比率 ⇒借入返済・利益蓄積がすすみ、株主資本充実

# 貸借対照表(B/S)

(百万円)	2007年度			2008年度			(百万円)	2007年度			2008年度		
	3月31日実績	9月30日実績	増減	3月31日実績	9月30日実績	増減		3月31日実績	9月30日実績	増減			
<b>資産の部</b>							<b>負債純資産の部</b>						
<b>流動資産</b>	3,100	3,228	128				<b>流動負債</b>	1,462	1,373	▲ 89			
現金及び預金	367	351	▲ 16				買掛金	250	370	120			
受取手形及び売掛金	1,694	1,421	▲ 273				短期借入金	696	498	▲ 198			
棚卸資産	922	1,323	401				その他流動負債	516	505	▲ 11			
その他	117	133	16				<b>固定負債</b>						
<b>固定資産</b>	572	596	24				長期借入金	-	-	-			
建物・構築物	76	73	▲ 3				その他固定負債	-	-	-			
機械・設備	91	90	▲ 1				<b>純資産</b>						
土地	355	355	0				株主資本	2,210	2,450	240			
無形固定資産	17	46	29				新株予約権	-	2	2			
その他固定資産	33	32	▲ 1				<b>負債純資産合計</b>	3,672	3,825	153			
<b>資産合計</b>	3,672	3,825	153										

- 売掛金減少 ⇒前年度末は期末に売上が集中し一時的に増加するも  
今期においては平準化され売掛金の滞留が改善
- 買掛金増加 ⇒受注の増加に伴う仕入の増加
- 棚卸資産増加 ⇒JIMTOF展示会用出展機の製作により一時的に増加

# キャッシュフロー計算書(C/F)

(単位:百万円)

(Million yen)

	2007年度 通期	2008年度 第1四半期	2008年度 中間期
	FY 2007 Full-year	FY 2008 1st Quarter	FY 2008 Half-year
営業活動によるCF	89	203	298
投資活動によるCF	▲ 91	▲ 16	▲ 116
財務活動によるCF	▲ 178	▲ 138	▲ 249
現金および同等物の増減額	▲ 180	47	▲ 67
現金および同等物の期首残高	480	299	299
現金および同等物の期末残高	299	347	232

# 回転期間・株主資本比率

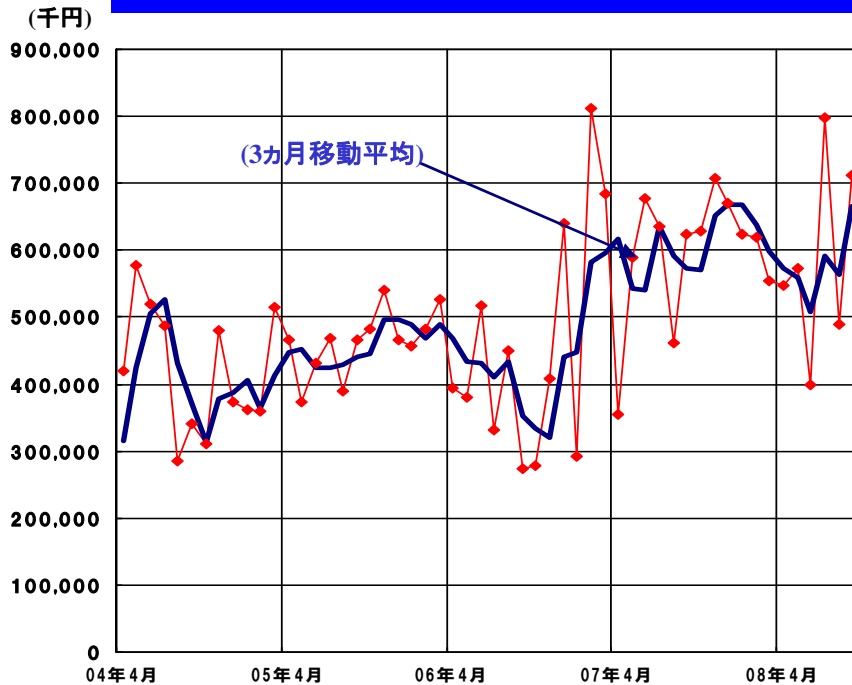
	2007年度	2008年度	
	中間期実績	中間期実績	増減
売上債権回転期間	2.72	2.44	▲ 0.27 ヶ月
棚卸資産回転期間	1.72	1.93	0.21 ヶ月
仕入債務回転期間	0.48	0.64	0.16 ヶ月
固定資産回転期間(有形)	0.99	0.89	▲ 0.09 ヶ月
借入金回転期間	2.83	0.86	▲ 1.97 ヶ月
株主資本比率	39.3%	64.0%	24.7 p

- 売上債権 ⇒ 売上の期末集中から平準化が進み、回転率が向上
- 棚卸資産 ⇒ JIMTOF展示機の製作が仕掛品となり棚卸資産増加
- 仕入債務 ⇒ 受注の増加に伴う仕入の増加
- 有形固定資産 ⇒ 重要な設備取得なし
- 借入金・資本効率 ⇒ 増資に伴う借入金の返済・利益蓄積により株主資本充実

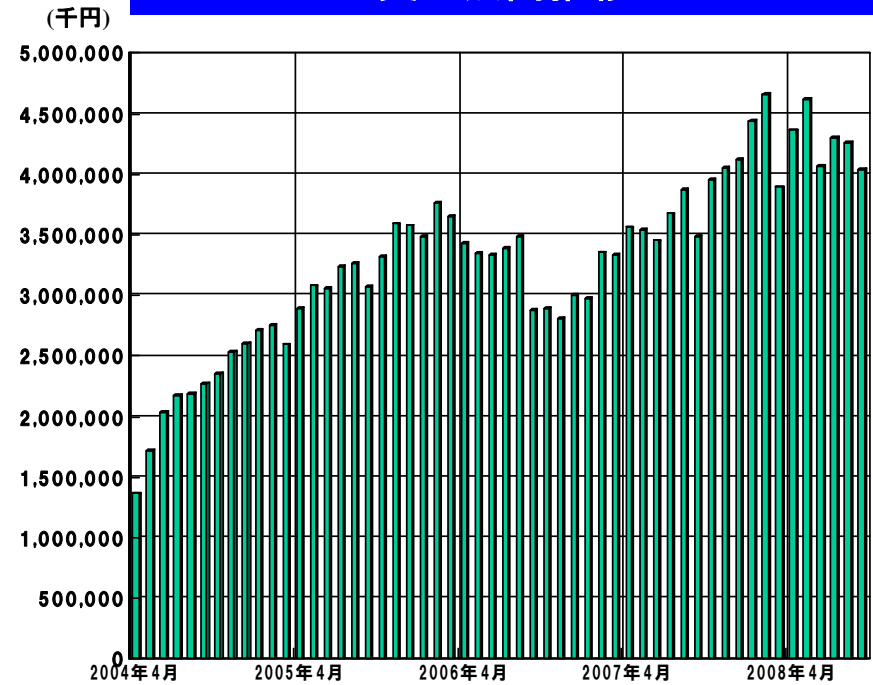
# 受注状況

# 受注高・受注残高の推移

受注推移



受注残高推移

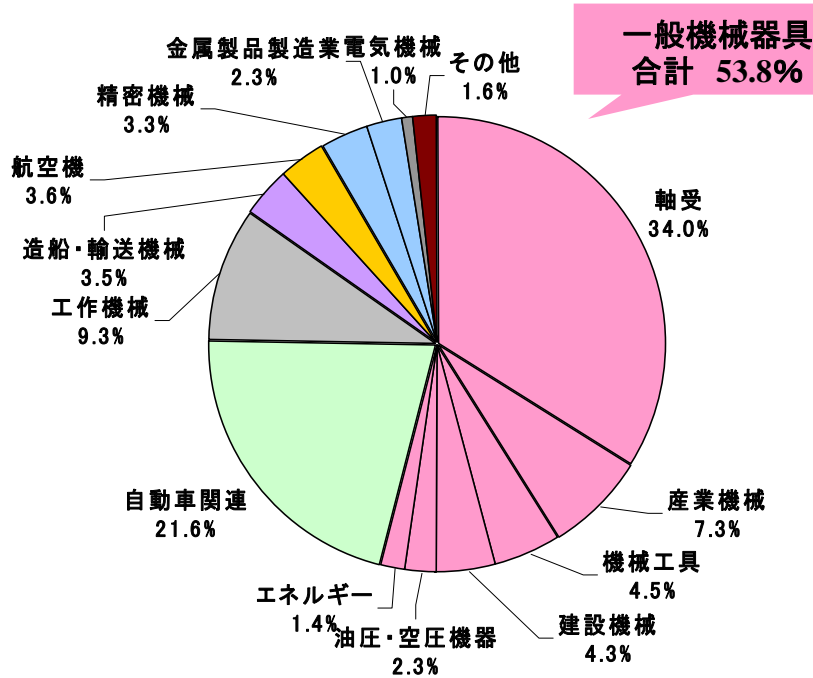


上半期受注額 35億円  
厳しい受注環境のなか健闘

期末受注残高 40億円  
6.2か月分の受注を確保

# 顧客業種別受注

2008年度中間期業種別受注(金額ベース)



- **軸受**  
前期に引き続き大手企業より好調な受注
- **自動車**  
設備投資抑制基調にありながら前年度同程度の比率(21.9%)を確保
- **工作機械**  
大型機種への投入に伴う設備投資が引き続き継続
- **海外**  
アジア・北米を中心に建機・航空・自動車などから受注

# トピックス



# 2008年度主な展示会(シカゴショー)



会場風景



主力の立形研削盤  
NVG-Tシリーズ

- IMTS(シカゴショー)への参加
- 主力製品の立形研削盤(NVG-Tシリーズ)を出展
- 航空部品メーカーからの受注や大手建機メーカー等からの引合あり

# 2008年度主な展示会

第24回 日本国際工作機械見本市  
24th JAPAN INTERNATIONAL MACHINE TOOL FAIR  
**JIMTOF2008**

2008年10月30日(木)▶11月4日(火) 東京ビッグサイト  
October 30 (Thu.) – November 4 (Tue.) 2008 Tokyo Big Sight



新型機種：NVGHシリーズ

- 国内最大の展示会が開幕
- 新製品2機種を投入

# JIMTOF2008 出展機種

## ■ NVGH-10TC (CNC立形複合研削盤) **NEW**

立形研削盤の複合研削加工技術と大物ワーク研削技術の融合  
大物ワークの割出し研削や輪郭研削も効率的に研削

- ・従来機に比べてモータ馬力を大幅にパワーアップ
- ・トルクアップとともに大径複合ベアリングを採用し精度と剛性を確保
- ・切り屑処理良好なベッド形状

## ■ ターゲットユーザ

- ・船舶関連
- ・建設機械
- ・航空機
- ・エネルギー関連  
(軸受・変速機・タービン)
- ・工作機械

## ■ 販売

- ・販売予定台数・・・12台／年



■ **TGN45/125 (CNCネジ研削盤)** **NEW**

シンプルな構造・理想的な配置、特殊振れ止め装置の採用など  
コストパフォーマンスに優れ、自動化対応も可能に

- ・熱変位特性を改善し、高精度加工を実現
- ・砥石台剛性の向上と作業時の段取り作業性を向上
- ・特殊振れ止め装置の採用により自動化対応を可能に

■ **ターゲットユーザ**

- ・ボールネジ
- ・工作機械
- ・その他

■ **販売**

- ・販売予定台数・・・6台／年



## ■ IGV-3NT (CNC立形複合研削盤)

- ・立形スピンドル採用による操作性向上
- ・ワンチャックで内・外径、端面の連続研削が可能
- ・フロアスペース4.7m<sup>2</sup>と省スペースボディ

## ■ ターゲットユーザ

- ・自動車関連
- ・一般機械
- ・その他

## ■ 販売

- ・販売実績台数・・・12台／年



## ■ IGH-2NT (CNC内面研削盤)

- ・ワンチャックで内・外径、端面、テーパ面の連続研削が可能
- ・10万分の1度単位でワーク傾度を調整
- ・フルクローズドループ制御により高精度の内径・外径研削加工を実現

## ■ ターゲットユーザ

- ・工作機械
- ・工具・ツーリング
- ・一般機械

## ■ 販売

- ・販売実績台数・・・10台／年



# 今後の展開

# 年度業績の見通しは変更なし

(百万円)	2008年度 上半期	2008年度 下半期	2008年度 通期
	実績	計画	計画
売上高	3,490	4,010	7,500
営業利益	532	518	1,050
(売上高比率)	15.3%	12.9%	14.0%
経常利益	520	510	1,030
(売上高比率)	14.9%	12.7%	13.7%
税引前利益	521	—	—
当期利益	291	309	600

- 下半期における営業利益率の低下は、JIMTOF展示会費用の発生等の影響を慎重に見込んだ結果によるものです。



# 今後の展開

営業展開

## ■シカゴショーでの高い評価⇒本格的に北米展開

- ・ **IMTS展示会への出展**(NVG-8CT)を契機に北米マーケットを開拓
- ・ シカゴテクニカルセンタに**デモ機**を設置(NVG-8CT)(2008年10月～)
- ・ 同テクニカルセンタに**アプリケーションエンジニア常駐**(2008年11月初旬～)

## ■アジア地域の営業強化

- ・ アジア全般をカバー、国内地域と同レベルで営業展開
- ・ ターゲット地域: 好調な**韓国**に加え**中国・台湾・インド**に攻勢

## ■新規市場に向けた製品開発

- ・ **大型機へのシフト**: 2m超クラスの大型立形研削盤(NVGH)のシリーズ化
- ・ 小型立形研削盤シリーズのリニューアル
- ・ 新規市場へ向けた精密ネジ研削盤(TGN)のシリーズ化

製品開発

# 新製品開発

- 立形複合研削盤
- 立形複合研削盤
- 立形複合研削盤
- ボールネジ研削盤

NVGH-6

NVGH-10

NVGH-20

TGN-45

## お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたのもので、当社への勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問い合わせ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL : 0258-42-8808

URL : <http://www.taiyokoki.com>